

2026 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 鍼灸美容学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義 |
|---|----------------------|-----------------|--|---------------------------|--|----------------|
| 科 目 名 | 総合医学演習IV | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 120 (4) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 3年生 | | 学期及び曜時間 | 後期 | 教室名 | 講義室 |
| 担 当 教 員 | 北田、奥谷、向井、大西、本多、桑原、奈良 | 実務経験と その関連資格 | | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 鍼灸専門学校の最終目標としてあるのは、国家試験に合格し免許を取得することにある。本時は、はり師・きゅう師の国家試験の合格を目指し、その試験対策に重点を置いた授業を行う。臨床医学、臨床論を中心に行い、模擬試験結果に応じ弱点科目の対策を実施する。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 後期卒業判定試験(100%) | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 東洋療法学校協会 教科書類:解剖学、生理学、経絡経穴概論、東洋医学概論、臨床医学総論、臨床医学各論、病理学概論、リハビリテーション医学、衛生学・公衆衛生学、医療概論、関係法規 配布プリント | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 教科書を用いて、国家試験の過去に出題された内容をチェックし、覚えること。 演習において理解不足であった範囲についてはしっかりと再学習すること。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 必ず、予習復習を実施し、国家試験合格に向けての知識を固める行動をとること。日々の積み重ねが成果となります。1日も無駄にしない過ごし方をしてください。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。 | 経絡経穴概論・臨床医学総論・臨床医学各論のテキスト | 授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・経絡経穴演習テスト ・テストの解答並びに解説 ・臨床医学総論の国試対策授業 | | | |
| 第2回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。 | 経絡経穴概論・臨床医学総論・臨床医学各論のテキスト | 授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・経絡経穴演習テスト ・テストの解答並びに解説 ・臨床医学総論の国試対策授業 | | | |
| 第3回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。 | 経絡経穴概論・臨床医学総論・臨床医学各論のテキスト | 授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・経絡経穴演習テスト ・テストの解答並びに解説 ・臨床医学総論の国試対策授業 | | | |
| 第4回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。 | 経絡経穴概論・臨床医学総論・臨床医学各論のテキスト | 授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・経絡経穴演習テスト ・テストの解答並びに解説 ・臨床医学総論の国試対策授業 | | | |
| 第5回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 授業範囲の国家試験レベルの知識を理解し、同じ範囲から出題された鍼灸国家試験問題に正答出来る。 | 経絡経穴概論・臨床医学総論・臨床医学各論のテキスト | 授業予定の範囲における重要語句の暗記と、その意味や構造の説明がある程度出来るレベルまでテキストをチェックする | |
| | | 各コマにおける授業予定 | ・経絡経穴演習テスト ・テストの解答並びに解説 ・臨床医学総論の国試対策授業 | | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|--|------------------|---|
| 第16回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 2年間で学習した解剖学・経絡経穴学の関連付けができるようになる。要穴について理解し、出題された国家試験の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 最低でも過去5年分の国家試験の問題を確認し、実際に解いてみること。 |
| | 各コマにおける授業予定 | オリエンテーション 経絡経穴の概要① | | |
| 第17回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 流注について理解し、出題された国家試験の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴の概要② | | |
| 第18回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 経絡経穴の現代的な研究について理解し、出題された国家試験の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 経絡経穴の現代的な研究について | | |
| 第19回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 上肢の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 上肢(上腕・前腕)の経穴の復習、それに関連する解剖学的知識① | | |
| 第20回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 上肢の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 上肢(上腕・前腕)の経穴と関連する解剖学的知識② | | |
| 第21回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 上肢の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 上肢(上腕・前腕)の経穴と関連する解剖学的知識③ | | |
| 第22回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 下肢の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 下肢(大腿・下腿)の経穴の復習、それに関連する解剖学的知識① | | |
| 第23回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 下肢の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 下肢(大腿・下腿)の経穴と関連する解剖学的知識② | | |
| 第24回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 下肢の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 下肢(大腿・下腿)の経穴と関連する解剖学的知識③ | | |
| 第25回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 頭頸部の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 頭頸部の経穴の復習と、それに関連する解剖学的知識① | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|--|------------------------|---|
| 第26回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 頭頸部の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 頭頸部の経穴と関連する解剖学的知識② | | |
| 第27回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 胸腹部の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 胸腹部の経穴の復習と、それに関連する解剖学的知識① | | |
| 第28回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 胸腹部の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 胸腹部の経穴と関連する解剖学的知識② | | |
| 第29回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 背腰部の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 背腰部の経穴の復習と、それに関連する解剖学的知識① | | |
| 第30回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 背腰部の経穴に関する理解を深め、経絡経穴だけでなく、臨床の範囲の問題が解けるようになる。 | 経絡経穴概論 配布プリント | 前回の授業を復習し、不明点は事前に教員に質問するかクラス内で教え合うなどして理解しておくこと。 |
| | 各コマにおける授業予定 | 背腰部の経穴と関連する解剖学的知識② | | |
| 第31回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 医療概論 関係法規 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論・関係法規に関する演習および解説 | | |
| 第32回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 医療概論 関係法規 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論・関係法規に関する演習および解説 | | |
| 第33回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 医療概論 関係法規 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 医療概論・関係法規に関する演習および解説 | | |
| 第34回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 鍼灸治療学のプリント 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論(現代系)に関する演習および解説 | | |
| 第35回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 鍼灸治療学のプリント 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論(現代系)に関する演習および解説 | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|-----------------------|--|-----------------------|---|
| 第36回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 鍼灸治療学のプリント 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論(現代系)に関する演習および解説 | | |
| 第37回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 鍼灸治療学のプリント 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論(現代系)に関する演習および解説 | | |
| 第38回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 鍼灸治療学のプリント 配布プリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 東洋医学臨床論(現代系)に関する演習および解説 | | |
| 第39回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 自身が調べるのに必要な教科書およびプリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 総合的演習および解説 | | |
| 第40回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 自身が調べるのに必要な教科書およびプリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 総合的演習および解説 | | |
| 第41回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 自身が調べるのに必要な教科書およびプリント | 国家試験過去問題および模擬試験問題の該当範囲を復習しておくこと |
| | 各コマにおける授業予定 | 総合的演習および解説 | | |
| 第42回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲について正答選択肢の理由が説明できる。 | 模擬試験 配布プリント | 模擬試験の見直しをしておく また、誤っていた箇所について知識を確実にに入れておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬試験結果より弱点科目の解説および演習 | | |
| 第43回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲について正答選択肢の理由が説明できる。 | 模擬試験 配布プリント | 模擬試験の見直しをしておく また、誤っていた箇所について知識を確実にに入れておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬試験結果より弱点科目の解説および演習 | | |
| 第44回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲について正答選択肢の理由が説明できる。 | 模擬試験 配布プリント | 模擬試験の見直しをしておく また、誤っていた箇所について知識を確実にに入れておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬試験結果より弱点科目の解説および演習 | | |
| 第45回 | 講義演習形式 授業を通じての到達目標 | 該当範囲について正答選択肢の理由が説明できる。 | 模擬試験 配布プリント | 模擬試験の見直しをしておく また、誤っていた箇所について知識を確実にに入れておく |
| | 各コマにおける授業予定 | 模擬試験結果より弱点科目の解説および演習 | | |

| 授業の方法 | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
|-------|------------|---------------------|--|--------------------------------------|---|
| 第46回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第47回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第48回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第49回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第50回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第51回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第52回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第53回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 該当範囲についての国家試験過去問題、本年度実施済模擬 試験について正答でき、かつ正答理由が説明できる。 | 臨床医学各論・ 臨床医学総論の プリント 配布プリント | 国家試験過去問題およ び模擬試験問題の該当 範囲を復習しておくこと |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 臨床医学に関する演習および解説 | | |
| 第54回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 模擬試験問題より自身の課題を明らかにし、不足知識を補うこ とができる | 配布プリント | 模擬試験の見直しをし ておく |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 模擬試験の見直しおよび弱点の対策 | | |
| 第55回 | 講義 演習形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 模擬試験問題より自身の課題を明らかにし、不足知識を補うこ とができる | 配布プリント | 模擬試験の見直しをし ておく |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 模擬試験の見直しおよび弱点の対策 | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|-------|------------|-------------|-----------------------------------|--------|-----------------------|
| 第56回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 模擬試験問題より自身の課題を明らかにし、不足知識を補うことができる | 配布プリント | 模擬試験の見直しをしておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 模擬試験の見直しおよび弱点の対策 | | |
| 第57回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 模擬試験問題より自身の課題を明らかにし、不足知識を補うことができる | 配布プリント | 模擬試験の見直しをしておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 模擬試験の見直しおよび弱点の対策 | | |
| 第58回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 模擬試験問題より自身の課題を明らかにし、不足知識を補うことができる | 配布プリント | 模擬試験の見直しをしておく |
| | | 各コマにおける授業予定 | 模擬試験の見直しおよび弱点の対策 | | |
| 第59回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 総合まとめ演習で70%以上を取得できる | 配布プリント | これまでの復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合まとめ演習① | | |
| 第60回 | 講義 演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 総合まとめ演習で70%以上を取得できる | 配布プリント | これまでの復習 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 総合まとめ演習② | | |
| 第61回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第62回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第63回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第64回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |
| 第65回 | | 授業を通じての到達目標 | | | |
| | | 各コマにおける授業予定 | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 |
|--------------|---------------------|-----|------|-----------------------|
| 第 66 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 67 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 68 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 69 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 70 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 71 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 72 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 73 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 74 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |
| 第 75 回 | 授業を 通じての 到達目標 | | | |
| | 各コマに おける 授業予定 | | | |